平成３０年度
大原自治振興会定期総会

（皆様から募集し決定した大原自治振興会のシンボルマークです）

日時：平成 30 年 5 月 19 日（土）午後 8 時～

場所：かふか生涯学習館　2 階研修室

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛（あい）に　　あなたも仲間（なかま）
いろどる山河（さんが）と　　生（い）きいき文化（ぶんか）
こぼれる笑顔（えがお）に　　応（こた）える安心（あんしん）
うみだす活力（かつりょく）　　受（う）けつぐ伝統（でんとう）
かがやく未来（みらい）に　　鹿深（かふか）の夢（ゆめ）を

市民憲章の唱和方法

司会：甲賀市市民憲章
　わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

司会：あ
全員：あふれる愛（あい）に　あなたも仲間（なかま）
司会：い
全員：いろどる山河（さんが）と　生（い）きいき文化（ぶんか）
司会：こ
全員：こぼれる笑顔（えがお）に　応（こた）える安心（あんしん）
司会：う
全員：うみだす活力（かつりょく）　受（う）けつぐ伝統（でんとう）
司会：か
全員：かがやく未来（みらい）に　鹿深（かふか）の夢（ゆめ）を

平成30年度大原自治振興会
定 期 総 会 次 第

日 時:平成30年 5月19(土) 午後8:00～

場 所:かふか生涯学習館 2階研修室

1. 開 会

2. 市民憲章の唱和

3. あいさつ

4. 来賓祝辞

5. 資格審査報告

6. 議長の選出

7. 書記、議事録署名人の指名

8. 議 事

議案 第1号 平成29年度大原自治振興会事業報告

議案 第2号 平成29年度大原自治振興会収支決算報告

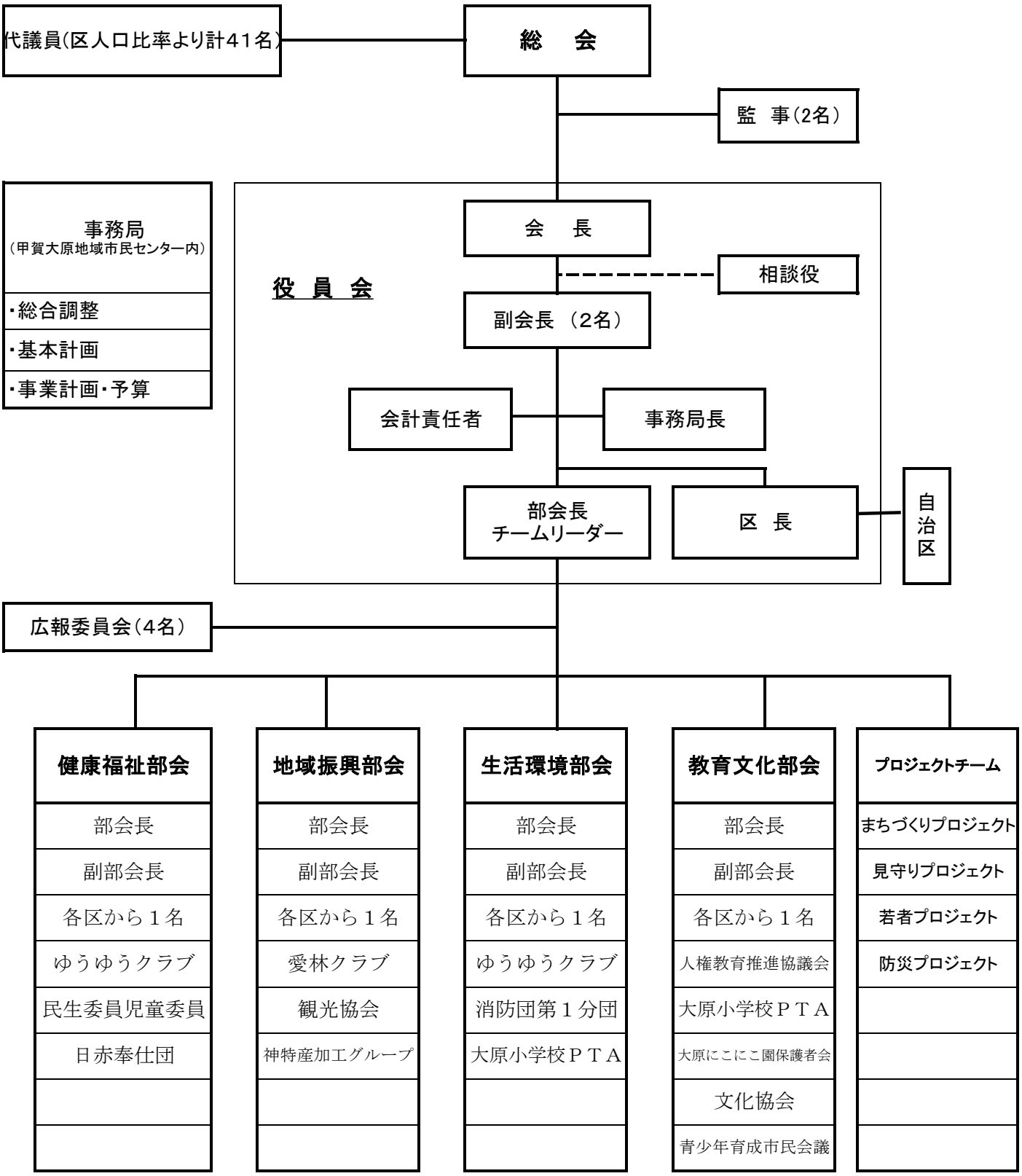
平成29年度会計及び事業の監査報告

議案 第3号 平成30年度大原自治振興会事業計画(案)について

議案 第4号 平成30年度大原自治振興会収支予算(案)について

9. 閉 会

大原自治振興会組織図


代議員(区人口比率より計41名)
総　会
監　事(2名)
事務局
(甲賀大原地域市民センター内)
・総合調整
・基本計画
・事業計画・予算
役　員　会
会　長
相談役
副会長（2名）
会計責任者
事務局長
部会長
チームリーダー
区　長
自治区
広報委員会(4名)
健康福祉部会
部会長
副部会長
各区から１名
ゆうゆうクラブ
民生委員児童委員
日赤奉仕団
地域振興部会
部会長
副部会長
各区から１名
愛林クラブ
観光協会
神特産加工グループ
生活環境部会
部会長
副部会長
各区から１名
ゆうゆうクラブ
消防団第１分団
大原小学校ＰＴＡ
教育文化部会
部会長
副部会長
各区から１名
人権教育推進協議会
大原小学校ＰＴＡ
大原にこにこ園保護者会
文化協会
青少年育成市民会議
プロジェクトチーム
まちづくりプロジェクト
見守りプロジェクト
若者プロジェクト
防災プロジェクト

≪ 平成30年度大原自治振興会委員名簿 ≫

【　事務局　】

会　長	中島　教芳				相 談 役
副会長	廣岡　道生	大原　久和			田中　勇
会計責任者	宮林　康自				
監　事	堀口　弘志	西田　武史			
事務局長	松岡　篤史				
事務員	中島 恵美子				
広報委員	松本　勝	林　幸世	福永　光代	竹中島　勝	

【　区長　】

区 名	区 長 氏　名
櫟　野	大原　久和
神	粂田　誠
大原上田	井場　富貴雄
大久保	西田　康晴
大原中	西田　恒夫
拝　坂	清水　幹雄
鳥居野	増井　富夫
相　模	金　正和
大原市場	古川　秀行
高　野	吉田　均

【　専門部会委員　】

◎は部会長　　〇は副部会長

区名等	健康福祉部 氏　名	地域振興部 氏　名	生活環境部 氏　名	教育文化部 氏　名
櫟　野	九里　敏樹	山下　真智子	西野尾　敦士	東　斐彦
神	廣岡　豪樹	中島　常浩	福永　享晴	廣岡　孝幸
大原上田	谷　ゑり子	福田　重則	〇 福田　重通	森田　亨
大久保	大原　幸子	◎ 東　克美	重田　宜孝	大原　民男
大原中	安田　肇	辻　直也	柚木　宏文	中田　勝治
拝　坂	瀧　紀子	荒川　巌	梶本　裕之	〇 島岡　啓友
鳥居野	津川　浩二	大原　務	奥村　通裕	加藤　善久
相　模	村木　竹良	玉木　千代美	中島　裕介	林田　孝弘
大原市場	冨田　幸夫	〇 守岡　恵子	中井　博美	増田　治雄
高　野	◎ 奥山　清美	奥山　ルリ子	◎ 奥山　律雄	奥山　仁司
各種団体	(ゆうゆうクラブ連合会)	(愛林クラブ)	(ゆうゆうクラブ連合会)	(人権教育推進協議会)
	上山　喜宣	竹中島　眞博	大原　重晴	増田　定雄
	(民生委員児童委員)	(観光協会)	(消防団第1分団)	(大原小学校PTA)
	〇 難波　健吉	藤岡　茂喜	中井　大	安田　誠一
	(日赤奉仕団)	(神みそ加工グループ)	(大原小学校PTA)	(大原にこにこ園保護者会)
	奥島　ひろ子	広岡　慶子	大原　聖史	鈴木　信哉
				(文 化 協 会)
				西谷　輝昭
				(青少年育成市民会議)
				◎ 髙田　富夫
担当役員	松岡　篤史	中島　教芳	廣岡　道生	大原　久和

議案第１号

平成 29 年度事業報告

健康福祉部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
サロンスタッフ研修会 （6/24）	3	各区のサロンスタッフや区役員を中心に 53 名参加者を得た。講演会後の少人数での分科会では各サロンでの疑問や困っている点について活発な意見交換ができ盛り上がりをみせた。ピアカウンセリングという意味では意義のあるものになった。	市社協においても同様の研修会があるため、実施内容や実施時期について精査していく必要がある。
健康作り・ウォーキング （10/7）	3	ポールウォーキングの講座と、ウォーキング体験の内容で 48 人の参加があった。 参加者からは単なるウォーキングだけではなく健康講座と組み合わせて実施されたことがよかったとの声が多かった。気軽にできる運動習慣のきっかけ作りの成果	より多くの人に参加してもらうために、実施時期や時間について検討が必要。
歴史探訪ウォーキング （11/3）	3	他部会と共催。46名の参加あり。当部会は当日の救護、先導とクイズ作成とその景品準備を行なう。	ふるさとの魅了の掘り起こしの努力が必要。
100万歩運動 （9月～12 月）	3	一番身近な運動である歩行について習慣付け、動機付けを目標として、9 月～12 月の 4 か月間に渡り 89 名が参加。内 59 名が 100 万歩達成され、達成賞として防災袋を配布する。	毎年参加者の顔ぶれが固定化されてきており、広報等、広く周知する方法が課題として残る
認知症講座 （3/4）	3	認知症の理解とどのように向き合うのかをテーマに、医師と介護者の会の方による講演会、講師の方を助言者にした懇談会を実施する。各区の団体の方以外の一般の方の参加も多く、約200人の参加があった	より多くの人に参加してもらうために、広報等の在り方についで検討が必要。

地域振興部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
大原ふるさと再発見事業(11/3)	3	・初めて大原学区以外のエリアを対象に入れて実施した。 ・前年の参加者数よりも 10 名以上減少した。（47 名） ・今回で６回目となり、各字はほとんど目的地に選ばれているのでウォーキングのテーマでルートの設定が難しい。	・自治振興会として整備を進めている里山をルートにできないか検討する。 ・他の学区との関係を見つけるようなテーマの設定を検討する。 ・見学先で仏像等をゆっくり勉強するような時間がとれないか検討する。
文化財整備事業（3/19）	3	・各字に希望を募ったところ、1地区のみ要望があった。神区（長岡山弘法大師堂）にて案内板を設置することとなった。 ・要望の有無を各区長さんに照会しているが、応募数が少ないため、他の募集方法も検討する必要がある。	・各区以外に歴史の愛好家や社寺役員などにも案内できないか検討する。
里山・地域景観整備事業 ①里山整備事業 （大原上田 11/5、高野 12/18） ②地域景観整備事業（櫟野ダム 9/27） ③上下流交流事業（7/30）	2	・昨年度の実施地区と同じ２地区しか応募がなく、その地区で事業を実施したが、いずれもボランティアによる一般の参加者は少なかった。（大原上田０名、高野３名） ・地域景観整備事業は継続の櫟野ダム以外に応募がなく、事業の必要性が問われる結果となった。 ・一般参加者 50 名、スタッフ 50 数名の参加となり、前回とは減少した。屋外活動であり、サポートするスタッフの数も多く必要となるが、もう少し多くの参加が望まれる。 ・自治振興会としては食事の提供のみを担ったが、部会の目的からみてもこの役割分担は適切。	・里山整備事業については、一般のボランティアの参加が得られるような「お楽しみ」もある事業内容ができないか検討する。 ・地域景観整備事業は櫟野ダム整備の取扱いを変更・事業の存続を検討する。 ・上下流交流事業は、自治振興会として引き続き協力する。
観光推進事業（10 月～）	2	・案内パンフレット作成のための資料収集及び記載する情報の種類などの検討を行った。 ・内容を固めるまでにはまだ時間を要するため、今年度中の作成は見送ることとした。	・今年度の検討内容を踏まえて、さらに検討を行う。
ホタル観察と調査事業（6 月）	2	・6 月に各委員の自治会内でホタルが鑑賞できる箇所を調査し、各自の結果を取りまとめた。 ・前年度の調査結果ではこれまでの状況とほぼ同様であったため、新たな情報提供は行わなかった。	・情報提供の内容として、ホタルが多く観察できるポイントをPRするなど、対外的にアピールできる方法を検討する。
甲賀駅風鈴展示		甲賀駅に櫟野子供会作成の風鈴を展示	

生活環境部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
○防犯灯維持管理事業 防犯灯のLEDへの交換 各区２基、または新規１基	3	・防犯灯のLEDへの交換 17 基 ・防犯灯のLED新規１基	まだ防犯灯のLEDｲﾋされていない数 161 基もうすでにLEDｲﾋされている区を除き、まだされていない区に数を増やす。
○花いっぱい事業 ・マリーゴルド 400 株、ベゴニア 400 株甲賀駅北口ロータリー植込み(7/2) ・葉牡丹紅白各 15 株各区に支給(11/24) ・パンジー800 株　甲賀駅北口ロータリー植込み(2/25)	3	マリーゴルド、ベゴニア、パンジー、葉牡丹甲南高校へ苗の依頼 ・21 世紀の会、甲賀駅北口ロータリー植込み ・葉牡丹について各区は配布期待されている。	今まで通り実施する。
○生活道路の安全事業 前年度の要望を基に市役所の各所管課が説明(11/24)	1	要望箇所全般に交通量が少ないため、要望に応えられない意向である。しかし何回か要望を繰返せば少しは前向きに検討してもらえると期待する。	本年度の要望を基に優先順位と今後の要望を考え直し、再度要望を行う。
○飛び出し忍者設置 飛び出し忍者各区１枚配布 各区PTA設置(7/30)	3	地域住民から大原小、PTA、自治振興会に要望があり、少数の配布であったが、成果は大きい。	大原小PTAに破損、塗装の劣化など使用不可の数と今後の設置ヶ所を検討していただき、配布枚数を決定する。
防災倉庫の調査 防災倉庫の調査・備品の支給 各区の防災用備品調査実施(10月)各区の調査リストより必要な物を何点か選択し各区に 15､000 円以内で支給(2 月末)	3	・各区の防災用備品・備蓄物資調査については、各区に再確認でき効果は大きい。 ・限られた金額での備品支給であること。	防災備品の設置場所を再度確認し区民に周知する。

教育文化部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果/問題点	改善・対策案
小学校人権研修会 （6/20）	2	児童だけの対象でなく、PTA　全体の研修会で、一定の成果有り。	児童だけなら市教育行政の責務。大原地域の人権感覚の向上のために、あくまでもPTAも含めての研修会支援が望ましい。
甲賀中学人権研会 （10/17）	2	生徒を中心とした人権研修会となった。やはり市教育行政が主体となるべき。資金援助を重視するなら、佐山・油日各自治振興会と協賛し開催の方向が必要。	PTAの受講の機会となる研修会が望まれる。事業実施主体はあくまでも中学校で、支援者は自治振興会
忍者体験学習 （10/21）	2	参加者が少なかった。（昨年子:35人親18人）本年親子で23人。2年目でもあり内容に工夫が必要。 また、当日の天候にも左右され、台風の影響で、生涯学習館での活動となった。 しかし、スタッフ一同工夫をし、忍者体験コーナーやくすり学習館「丸薬」づくりは好評であった。	参加者を増やす方策として、「大原小学校親子グループ」と「一般グループ」の2コースに分けて、実施する方向も大事。 また、忍術村にこだわらず、市内に目を向け、子どもたちの豊かな体験を可能にする施設への訪問も視野に入れ検討する必要がある。（例）信楽陶芸の森作陶体験等
大原小学　自然体験学習 6年・・・卒業記念植樹、ヒノキ材で工作 4年・・・椎茸植菌 （2/27）	2	伝統的な「子が植え、親が育てる育林活動」を継続していくための自治振興会支援は大切と思う。しかし、事業実施主体はあくまで学校で、自治振興会は実施支援団体に徹する。	植林・育林から学ぶ「自然環境の保全」の大切さを、体験を通じての学習する事は大原小の児童、PTAにとっても貴重である。引き続きの支援が重要。
大原ふるさと再発見事業	3	・「ふるさと再発見大原」の冊子をもとに、毎月、部員が担当を決め、各区を紹介し冊子の内容とそれ以外の情報を共有した。 また、市歴史文化財課の職員による研修を実施し、地域理解に全員で取り組んだ。 さらに、新しい内容にも把握に努め、家族や地域で冊子の内容等をお話できるよう学習を深める。	

大原ふるさと再発見事業（健康福祉・地域振興・教育文化部会合同）

まちづくりプロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
各部会・プロジェクトチームの活動報告会＆懇親会(6/9)	3	・報告会に合わせて自治振興会の協力者の募集案内を行い、複数人参加があり、1 名プロジェクトチームに参加。	・参加者を増やす工夫をする ・毎年、PJ の参加公募を年度末か年始にして、活動報告会＆交流会を年度当初に実施する
空き家対策出前講座(6/30)	2	・市の空き家対策室でできることを学び成果があった。 ・しかし、自治振興会としてどのようなことが可能かについてはあまり明確にならずであった。	・区や自治振興会が空き家対策についてできることについて見い出し、行動に移せるワークを行う。
市長懇談会(9/14)	－	・今後、区との協働が必要なため、市長との意見交換会は意義のあるのであった。	・毎年 1 回は市長との懇談会を開催して、市との協働取組の成果と課題を伝え、改善策について意見交換を行う。
区長との意見交換会(10/6)	－	・今後、区との協働が必要なため、区長との意見交換会は意義のあるのであった	・年度当初に、自治振興会説明会、防災・見守り PJ 研修、交流会を行い理解とつながりを深める。
見守り円卓会議(12/15、2/15)	－	・現在の体制での課題の抽出、来年度の行動方針まで意見交換でき成果はあった。	
防災円卓会議(1/25)	－	現在の体制での課題の抽出でき成果はあった。	
各区との意見交換会(高野 11/4、拝坂 11/25、相模 1/20、大久保 1/27、神 1/24、大原市場 2/10、榛野 2/17、鳥居野 3/17)	－	・課題である区と協働に向けて、意見交換会ができ成果はあった。	・区と連携して参加者を増やす工夫をする
安全・安心まちづくり研修会(3/3)	3	・平成 30 年度の取り組みを検討するのに役立った。	・参加者を工夫をする。
まちづくり PJ 会議(16 回開催)	3	・さまざまなこと企画でき成果はあった。	

見守りプロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
命のバトンの普及	2	・区によって格差がある。（数） ・区長の関心にも格差がある。 ・民生委員の範囲以外は区で考えてもらわないといけない。	・区長の理解を得る様にする。
モデル地区として始動している拝坂区の見守り活動		・命のバトンはほとんど全戸配布されている。 区長も理解しており、チームメンバーも各組から出ており活動しやすい。	・今後の方向を考えていく。 ・区民の意識を高めていく。
モデル地区である大原中区の南地域で自治会加入者のサロン及び見守り活動	2	・区の理解が得られない。 ・開催月　10,11,12,2,3 の各月 参加者　延べ約 60 人 スタッフ　延べ 25 人 社協他　延べ 7 人	・スタッフを増やしていく。 ・区との話し合いを進めていく。
スマイル甲賀 対象者：大原学区の自治会非加入者の高齢者へのサロン・見守り活動（ご近所福祉）　準備中	－	・訳あって自治会に加入されていない高齢者約20人が将来の生活不安を抱えられている。	・自治会に加入していない高齢者の孤立を防ぎ、孤独感を和らげる。

若者プロジェクト

別評価

実施月	マルシェ名	店数	来場者	内容と成果／問題点
4		14	250	①カラオケ
5	母の日マルシェ		300	①先着 120 名のお母さんにお花苗ポットプレゼント ②岡村さんによる紙芝居(子供に飴プレゼント)
6	父の日マルシェ	18	250	①先着 80 名のお父さんに扇子をプレゼント ②タク＆トミーさんによるギター演奏
7	夕涼みマルシェ		雨天中止	ロータリーの道路占用許可を得て夕方より開催予定であったが、雨の予報のため中止（イベントとしてはハワイアンダンスとコマチカラボ予定)
9	1 周年記念マルシェ	32	750	イベントとして①ハワイアンダンス ②コマチカラボさんによる演奏 ③ラテンダンス④忍者(井原さん)登場 ④子供抽選会(200 円程度のお菓子詰め合わせ)　一般抽選会 (7 月の分で、尚村山さんグループから沢山の商品をいただく)
10		18	350	①来場者様にアンケート実施 ②金券の当たる抽選会実施 ③「いちごじゃむ」さんによる人形劇 ④キラキラ太鼓(一人演奏) ⑤サイクリングイベントの皆さんも来場
11		22	300	①寒いので来場者、出店者全員にホッカイロ進呈 ②でんでんくるくる(中川)さんによる漫才 ③田畑進さんによるハーモニカ演奏 ④本部席でカードの無料ワークショップ
12	クリスマスマルシェ	26	200-250	甲賀市の方で子どもたち向けのイベントもあり出店者数の割には来場者が大変少なかった。イベントとして①各出店者さんからのプレゼント②甲南病院からギター演奏と歌(2 人)
3/11	まなび体験フェスタマルシェ	20	600-700	「まなび体験フェスタ」に参加。多くの来場者であった。 本部としては、豚汁販売、カレー販売。子どもには綿菓子無料(300 本) 綿菓子目当てに下の遊園地で遊んでいた親子も上がってきてくれた。
3/17	ICOCA エリア拡大マルシェ	28	550-600	開催時間は 9:00～13:30(式典に合わせて実施) ①大抽選会(7 万円程度)ICOCA ｶｰﾄﾞ・お菓子詰め合わせ等 ②忍玉太鼓・演歌とし彦＆沙智・大道芸人・よさこい ③3臼餅の振る舞い・子供忍者服貸与・手裏剣投げ 式典開始前に知事や市長、森田議員など来られた。司会：高橋美香さん
マルシェは、一定の集客力があるが、全般にスタッフ不足、持続可能な運営になるために他組織と協働する等の検討が必要。 もう一つの柱の婚活ができていない。				

防災プロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
消火栓ボックス用 消防ホース支給	3	平成 29 年秋に大原学区の 10 区に支給。 (消防ホース各 2 本/区)	
災害ボランティア養成研修	3	平成 29 年 5 月末からの研修に参加	今年度でプログラムが終了、代わるものを考えていく
防災体制の構築	1	・区との協力は一部であるが、得られた。 ・講習等を実施するまでは至らなかった。 ・参加者の声を十分聞けなかった。 ・懇談会での参加者の反応が今一つであった。	専門部会や他の PJ から各区へは種々の申し入れや協力依頼があり、これら組織等とも調整して、対象の字を絞り込んで事業を実施する。
家庭で出来る防災事業	1	・区との調整が不十分であった。	

防災士になるには、

- 防災士研修講座受講（日本防災士機構）
- 試験（同上）
- 救急救命講習受講（消防署など）
- 防災士認証登録申請
- 受講会場　自治体、大学など
- 受講日時　8月～（会場により異なる）
- 事項費用　約6万円【自治体により補助】

広報委員会

議案第2号

平成29年度 大原自治振興会収支決算

収入の部　　単位　円

款	項	目	節	当初予算額	補正額	計	決算額	比　較	説　　明
市交付金				8,129,000	0	8,129,000	8,129,000	0	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,605,000	0	1,605,000	1,605,000	0	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,496,000	0	2,496,000	2,496,000	0	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	956,000	0	956,000	956,000	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,072,000	0	3,072,000	3,072,000	0	
繰入金				766,000	0	766,000	766,000	0	平成28年度積立金
繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	615,000	0	615,000	615,045	45	
諸収入				2,000	422,000	424,000	424,103	103	
	預金利子	預金利子	預金利子	1,000	0	1,000	20	△ 980	
	雑入	雑入	雑入	1,000	80,000	81,000	81,283	283	諸行事参加料　ふるさと冊子売上
	助成金等	助成金等	助成金等	0	342,000	342,000	342,800	800	甲賀駅を育てる会　草津線複線化同盟会他
収　入　合　計				9,512,000	422,000	9,934,000	9,934,148	148	

支出の部

款	項	目	節	当初予算額	補正額	計	決算額	比　較	説　　明
総務費	一般管理費	一般管理費		1,851,000	114,000	1,965,000	1,600,136	364,864	
			賃金	750,000	0	750,000	598,164	151,836	事務員賃金
			報償費	20,000	0	20,000	3,170	16,830	事務補助　監査事務
			旅費	350,000	0	350,000	295,000	55,000	本部・部員・PJメンバー費用弁償
			需用費	251,000	94,000	345,000	339,159	5,841	消耗品費　会議用お茶
			役務費	180,000	0	180,000	156,036	23,964	あいコムこうか　切手　HP管理
			使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
			工事費	200,000	0	200,000	97,200	102,800	電話移転等
			備品購入費	100,000	20,000	120,000	111,407	8,593	複写機　プロジェクター他
			積立金	0		0	0	0	
事業費				3,560,000	308,000	3,868,000	3,595,894	272,106	
	一般管理費	一般管理費		295,000	230,000	525,000	457,059	67,941	
			旅費	30,000	0	30,000	29,050	950	研修　出張
			需用費	150,000	230,000	380,000	374,491	5,509	コピー用紙　カラーインク代
			役務費	100,000	0	100,000	53,518	46,482	振込手数料　部会等通知ハガキ
			備品購入費	15,000	0	15,000	0	15,000	
	広報費	広報費		350,000	△ 44,000	306,000	305,370	630	
			需用費	350,000	△ 44,000	306,000	305,370	630	広報誌4回発行
	部会活動事業費	**部会活動事業費**		1,710,000	△ 205,000	1,505,000	1,396,802	108,198	
		健康福祉部会活動費		320,000	△ 10,000	310,000	300,073	9,927	百万歩　サロン交流会　認知症セミナー
		地域振興部会活動費		400,000	△ 65,000	335,000	298,253	36,747	歴史探訪ウォーキング　里山整備　史跡看板
		生活環境部会活動費		630,000	△ 30,000	600,000	589,160	10,840	LED化　駅花壇植替　防災備品
		教育文化部会活動費		360,000	△ 100,000	260,000	209,316	50,684	小中人権学習　忍者体験　小学生自然学習
	プロジェクト事業費	**プロジェクト事業費**		1,055,000	337,000	1,392,000	1,305,622	86,378	
		まちづくりプロジェクト		50,000	140,000	190,000	180,376	9,624	アンケート調査　各区話し合資料
		見守りプロジェクト		160,000	△ 20,000	140,000	101,401	38,599	命のバトン　見守り円卓会議
		若者プロジェクト		300,000	250,000	550,000	544,445	5,555	駅前マルシェ　ICOCAエリア拡大マルシェ
		防災プロジェクト		545,000	△ 33,000	512,000	479,400	32,600	災害ボランティア養成　消火栓ホース
	防災フェスタ事業費	**防災フェスタ事業費**		0	0	0	0	0	
			報償費	0	0	0	0	0	
			需用費	0	0	0	0	0	
			役務費	0	0	0	0	0	
			使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
	まちづくり研修	**まちづくり研修**		150,000	△ 10,000	140,000	131,041	8,959	
			報償費	30,000	80,000	110,000	105,630	4,370	講師謝礼　手土産
			需用費	50,000	△ 20,000	30,000	25,411	4,589	研修会資料　弁当　菓子
			使用料及び賃借料	70,000	△ 70,000	0	0	0	
振興費	区活動振興交付金			1,605,000	0	1,605,000	1,605,000	0	
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,207,000	0	1,207,000	1,207,000	0	
		環境整備交付金	負担金及び交付金	398,000	0	398,000	398,000	0	
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,496,000	0	2,496,000	2,496,000	0	
支　出　合　計				9,512,000	422,000	9,934,000	9,297,030	636,970	

収入合計 9,934,148ー支出合計 9,297,030＝差引残高 637,118円　　市返戻金（3,072,000+397,630)－3,595,894＝△126,264(返戻金なし)　　翌年度繰越金　637,118円

監　査　報　告　書

大原自治振興会歳入歳出決算

歳入合計　　９，９３４，１４８円

歳出合計　　９，２９７，０３０円

差引残高　　６３７，１１８円

残高内訳

翌年度繰越金　６３７，１１８円

市返戻金　　０円

平成３０年４月１３日大原自治振興会事務室で、平成２９年度の歳入歳出決算及び事業執行状況について、関係諸帳簿と証拠書類とを対照し、詳細に監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認めました。

平成３０年４月１３日

監査委員　堀口京志　㊞

監査委員　西田武史　㊞

平成 30 年度 事業展開の基本方針

地域・組織間及び外部との交流・連携を図りつつ、学区内の誰もが参加できる事業をとおして、つながりを大切にし、持続可能な安心・安全のまちづくりをめざします。（大原自治振興会まちづくり計画）

重点項目

1. 世代の違い、障がいの有無を問わず、誰もが参加できる機会を創出します。

- 従来、高齢者、障害ある人々の参加できる機会があまりありませんでした。事業の展開では、誰もが参加できる機会を創出し、そのための合理的配慮を行います。

「障害者の権利に関する条約」の締結（経済産業省、内閣府）
国連の「障害者の権利に関する条約」(H20.5)を受けて、日本は、H26.1.20 に「障害者の権利に関する条約」を締結。
主なポイント
① 社会モデル・・・障害は障害者（医学モデル）ではなく、社会が作り出しているという考え
② 合理的配慮・・・障害者から社会の中にあるバリアを取り除くための何らかの対応を必要との意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応することで、合理的配慮をしないことは差別。

2. 自治区未加入者や企業など学区内のすべての住民・組織が参加できる機会を創出します。

- 見守りプロジェクトでは、今年度、市営住宅内の集会所を振興会が借りて学区内の自治会に入っていない人を対象に居場所活動を計画。
- 配布物などの情報は、地域内全てに届ける手立てを検討・実施。
- これまで、企業のマルシェ参加（ICOCA エリア拡大マルシェ 2018.3）、防災活動への参加（防災フェスタ 2016.10）が一部あった。更に参加の機会を創出。

3. 行政と地域の関連組織を機能的につなぎ、地域の問題解決を促進します。

- 各区との意見交換会、防災円卓会議、見守り円卓会議、交通円卓会議、市長との懇話会など
- 甲賀大原地域市民センターとの協働（地域マネージャーの活動）

4. 大学や外部の機関との協力・協働を検討します。

議案第 3 号

平成 30 年度事業計画（案）

健康福祉部会

事業名	事業内容	予算
1. サロンスタッフ研修会	サロン活動の交流、課題解決についての研修　6 月 23 日または 30 日 「世界に一つだけの体操」の DVD の配布	20
2. 健康「笑うことの大切さ」	落語会　10 月下旬～11 月下旬	250
3. 健康講座	スポーツ又は講演会　 9 月～10 月	60
4. 100万歩運動	1 日 8500 歩を目指す　9 月1日～12 月 31 日	50
5. 大原の素晴らしさの発見	歴史探訪ウォーキング　11 月上旬	20
6. 甲賀駅利用促進の検討	ICOCA を使って各所ウォーキング　甲賀駅を育てる会との共催を検討	0

地域振興部会

事業名	事業内容	予算
1. 大原ふるさと再発見事業	10 月に櫟野寺の御開帳の時期に合わせ、里山巡りも視野に入れる。	80
2. 文化財整備事業	地域の史跡を案内する看板の設置	60
3. 里山・地域景観整備事業	・公共性のある里山整備 ・観光スポットの環境美化（櫟野ダム周辺整備も含む）	60 100
4. 上下流交流事業	下流域（大阪）との交流、地元小学生の森林への愛着を促す。甲賀愛林クラブと共催、7 月 29 日（日）	40
5. 観光推進事業	・引き続き地元調査・観光マップ作成作業を行い、ホタルマップも入れる。 ・甲賀駅の活用の検討	90

生活環境部会

事業名	事業内容	予算
1. 防犯灯維持管理事業	・防犯灯のLEDへの交換　各区 2 基、または新規 1 基	280
2. 花いっぱい事業	・マリーゴルド 400 株、ベゴニア 400 株甲賀駅北口ロータリー植込み(7 月) ・葉牡丹紅白各 15 株各区に支給(11 月) ・パンジー800 株　甲賀駅北口ロータリー植込み(2 月)	180
3. 生活道路の安全事業	生活道路等の安全啓発看板	50
4. 飛び出し忍者設置	飛び出し忍者各区 1 枚配布　各区PTAにて設置	60

教育文化部会

事業名	事業内容	予算
1. 小学校人権研修会	講演後の地区懇のテーマに入れる。6 月 27 日（水）	20
2. 忍者体験学習	児童と親子グループ・一般グループに編成して実施 高校書道部の協力　　10 月 20 日前後の土曜日	180
3. 大原小学校自然体験学習	卒業記念植樹、ヒノキ材を使った木工（6　年）、シイタケ植菌（4　年） 2 月 28 日（木）	100
4. おおはら親子教室	・天空散歩教室　星空を望遠鏡で探索	30
5. おおはら名人発掘事業	・大原に在住の「一芸に秀でている名人」を発掘、名人帖の製作・活用	15
6. 青少年育成会との共同	部会既存事業も含め、青少年育成会の事業との一体化を検討	10

まちづくりプロジェクト

事業名	事業内容	予算
1. 各部会・プロジェクトチームの活動報告会＆懇親会	6 月 9 日実施予定	50
2. 空き家対策出前講座	防災・見守りの円卓会議運営の展開に合わせ、空き家対策の開始。	
3. 市長懇談会	今年度も 9 月頃実施	
4. 区長との意見交換会	4 月 13 日　自治振興会の手引きを作成・配布	
5. 協働まちづくり円卓会議	①見守り円卓会議　具体的な行動開始まで継続	
	②防災円卓会議　具体的な行動開始まで継続	
	③交通円卓会議　交通弱者対策を検討（新規）	
6. 各区との意見交換会	9月頃より継続実施、特に健康福祉会、自主防災会等と	

見守りプロジェクト

事業名	事業内容	予算
1. 命のバトンの拡張	29 年度からの継続、メンテも含め、広げていく。	30
2. モデル地区の拡大	・新規モデル区の依頼 ・各区を回り、現モデル区の取り組み、見守りの必要性を説明。	10
3.「スマイル甲賀」の活動 （場所：大原中、市営住宅内会議所）	・学区内の自治会非加入者を対象としたサロン・見守り活動 ・5、6月、参加者約 20 名の参加への声かけとサポーターの募集。 ・7月～　月1回社協と協働してサロンとご近所福祉のモデル地域として展開 ・10月～　甲賀市国際交流協会の支援による学区在住外国人への展開 ・11月～　子ども食堂ニーズの調査・検討、サポーターの募集	60
4. 研修会	先進地への視察、仕組みづくりの勉強会	40
5. その他	見守り円卓会議の結果を受け随時対策。社協のキャラバンメイト受講推進	

若者プロジェクト

事業名	事業内容	予算
1. 婚活	先進地から活動ポイントを学ぶ	300
2. 甲賀駅前マルシェ	持続可能にするため、他組織と協働、やり方の見直しを検討しながら、継続	

防災プロジェクト

事業名	事業内容	予算
1. 防災講座	・地域防災活動の推進、リーダー養成 1 月下旬～3 月上旬　5 回 定員 40 名、他学区にも呼び掛け 甲賀市防災士連絡協議会甲賀地域会に協力依頼	50
2. 防災体制の構築	・DIG（災害図上訓練）による講習 ・家庭で出来る防災教室	
3. その他	防災円卓会議の結果を受けて随時対策	

まちづくり研修

事業名	事業内容	予算
まちづくり研修	自治振興会の優先すべき重要テーマについて研修会を開催	80

広報委員会

事業名	事業内容	予算
広報誌の発行	年 4 回　ちょこっと大原（お知らせ版）　随時	350

平成30年度 大原自治振興会収支予算(案)

収入の部

単位:千円

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
市交付金				8,076	8,129	△ 53	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,587	1,605	△ 18	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,482	2,496	△ 14	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	956	956	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,051	3,072	△ 21	
繰入金				0	766	△ 766	積立金
繰越金		前年度繰越金	前年度繰越金	637	615	22	
諸収入				151	2	149	
	預金利子	預金利子	預金利子	1	1	0	
	雑入	雑入	雑入	150	1	149	落語会入場料
収 入 合 計				8,864	9,512	△ 648	

支出の部

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
総務費	一般管理費	一般管理費		1,520	1,851	△ 331	
			賃金	700	750	△ 50	事務員賃金
			報償費	10	20	△ 10	監査事務
			旅費	300	350	△ 50	本部・部員・PJメンバー費用弁償
			需用費	300	251	49	消耗品 会議用飲料
			役務費	160	180	△ 20	あいコムこうか 切手・ハガキ
			工事費	0	200	△ 200	
			備品購入費	50	100	△ 50	掃除機など
			積立金	0	0	0	
事業費				3,275	3,560	△ 285	
	一般管理費	一般管理費		550	295	255	
			旅費	30	30	0	研修 旅費
			需用費	250	150	100	コピー用紙 カラーインク
			役務費	100	100	0	振込手数料 部会案内通知
			備品購入費	170	15	155	アンプセット
	広報費	広報費		350	350	0	
			需用費	350	350	0	広報誌4回 ちょこっと大原発行
	部会活動事業費	部会活動事業費		1,755	1,710	45	
		健康福祉部会活動費		400	320	80	落語会 百万歩 サロンスタッフ研修
		地域振興部会活動費		430	400	30	ふるさと再発見 里山整備 観光パンフ
		生活環境部会活動費		570	630	△ 60	防犯灯 花いっぱい 飛出し忍者
		教育文化部会活動費		355	360	△ 5	人権研修 自然学習 忍者体験 親子教室
	プロジェクト事業費	プロジェクト事業費		540	1,055	△ 515	
		まちづくりプロジェクト		50	50	0	資料作成
		見守りプロジェクト		140	160	△ 20	命のバトン 先進地視察
		若者プロジェクト		300	300	0	婚活 マルシェ
		防災プロジェクト		50	545	△ 495	防災講座 災害図上訓練(DIG)
	まちづくり研修	まちづくり研修		80	150	△ 70	
			報償費	50	30	20	講師謝礼
			需用費	30	50	△ 20	会議用飲物他
			使用料及び賃借料	0	70	△ 70	
振興費	区活動振興交付金			1,587	1,605	△ 18	各区へ交付
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,206	1,207	△ 1	
		環境整備交付金	負担金及び交付金	381	398	△ 17	
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,482	2,496	△ 14	各区へ交付
支 出 合 計				8,864	9,512	△ 648	

大　原　自　治　振　興　会　規　約

（名称）

第１条　この会の名称は、大原自治振興会（以下「本会」という。）という。

（事務所）

第２条　本会の事務所は、甲賀市甲賀大原地域市民センターに置く。

（目的）

第３条　本会は、大原学区（以下「学区」という。）の住民みずからが学区の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって住みよいまちづくりと住人自治の振興に寄与することを目的とする。

（事業）

第４条　本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

（１）　学区の未来づくりのための計画策定及び見直しに関すること。

（２）　人権の尊重、福祉の推進及び健康増進事業に関すること。

（３）　青少年の健全育成に関すること。

（４）　安全安心の住みよいまちづくりに関すること。

（５）　環境の保全に関すること。

（６）　学区基本方針の具現化に関すること。

（７）　広報に関すること。

（８）　その他、目的を達成するために必要なこと。

（組織）

第５条　本会の会員は、学区住民及び本会の目的に賛同する各種団体とする。

２　本会は、年齢、性別や社会的地位等の差別を排除し、会員誰もが平等に参加できるものとする。

３　本会は、会員に参加を促し、合議制による民主的な組織運営を行うものとする。

４　会員は、本会の実施する事業に積極的に参加するものとする。

（役員）

第６条　本会に次の役員をおく。

（１）　会長　１名

（２）　副会長　２名

（３）　区長　１０名

（４）　専門部会長　４名

（５）　プロジェクトリーダー

（６）　監事　２名

（７）　会計責任者　１名
（８）　事務局長　１名
（９）　相談役　１名
（役員の選出）
第７条　役員の選出は、それぞれ次のとおりとする。
（１）　区長は、当該年度の学区内自治区区長をもって充てる。
（２）　専門部会長は、専門部会から選出された者をもって充てる。
（３）　会長、副会長及び監事は、区長、専門部会長及びプロジェクトリーダーが会員の中から選出し、総会で承認を受ける。
（４）　会計責任者、事務局長は、会長が会員の中から委嘱し、総会で報告する。
（５）　相談役は、前会長をもって充てる。
（役員の任務）
第８条　役員の任務は、次のとおりとする。
（１）　会長は、本会を代表し会務を統括する。
（２）　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
（３）　区長、専門部会長及びプロジェクトリーダーは、本会、専門部会及びプロジェクトの事業を統括する。また、まちづくり計画の精査及び課題の検討、素案の作成を行う。
（４）　監事は、会計、資産の状況及び事業の執行状況を監査し、総会に報告する。
（５）　会計責任者は、本会の会計の事務処理にあたる。
（６）　事務局長は、本会の事務運営及び事務処理にあたる。
（７）　相談役は、必要に応じ助言を行う。
（役員の任期）
第９条　役員の任期は、区長を除き２年とし、再任は妨げない。
２　役員の中で欠員が生じたときは、補欠役員の補充を行うことができる。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。
（選出代議員制）
第１０条　各自治区に代議員を置く。代議員は、各自治区において自治区会員より選出された者をもって構成する。
２　代議員の数は、人口が、３００人未満は３名、３００人以上５００人未満は４名、５００人以上は５名とする。
３　役員は、代議員になることができない。
４　代議員の任期は、２年とし、再任は妨げない。
（会議）

第１１条　本会の会議は、総会、役員会、専門部会、プロジェクト会議及び広報委員会とする。

（総会）

第１２条　総会は、選出代議員制をもって構成する最高の議決機関であって、この規約に定める事項のほか、この会の目的を達成するための必要な重要事項を決議する。

２　定期総会は、会長の招集により毎年１回以上開催する。

３　臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は代議員の２分の１以上の要求があったときは、会長の招集により開催する。

４　総会は、代議員の２分の１以上の出席により成立し、その議事は出席者の過半数で決議する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。

５　総会には次の役員をおく。

（１）　議長　１名

（２）　書記　１名

（３）　議事録署名人　２名

６　議長は、出席代議員の中から会長が指名し、出席代議員の承認により選出する。書記及び議事録署名人は、議長が出席代議員の中から指名する。

７　議長は、総会の議事進行を行う。

８　書記は、総会の議事について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成し、議長及び議事録署名人２名の署名押印を得なければならない。なお、議事録は事務局が保管管理する。

９　総会は、次の事項を審議する。

（１）　まちづくり計画の策定（案）や見直し（案）の承認

（２）　事業計画及び予算案の承認

（３）　事業報告及び決算に承認

（４）　規約の改正

（５）　総会で提案された事項

（役員会）

第１３条　役員会は、会長、副会長、区長、専門部会長、プロジェクトリーダー、会計責任者及び事務局長をもって構成し、会長が招集し、次の事項を審議し、各専門部会及び各プロジェクトと共に事業を実行する。また、監事及び相談役は必要に応じ役員会に出席して意見を述べることができる。

（１）　本会運営の基本事項

（２）　まちづくり計画の策定及び見直し

（３）　総会に付議する事項

（４）　緊急を要する重要事項
（５）　予算の軽微な変更
（６）　その他の必要な事項
２　役員会の議長は、会長が行い、その議事録の作成は事務局長が行う。なお、議事録は、議長及び作成者が署名押印し、事務局が保管管理する。
（専門部会）
第１４条　専門部会は、学区内の自治区及び各種団体から選出された委員をもって構成し、部会員の互選により部会長１名と副部会長１名を選出する。
２　専門部会は、部会長が招集し、事業の企画、調整、運営及び事業の執行を行う。
３　専門部会は、次のとおりとする。
（１）　健康福祉部会
（２）　地域振興部会
（３）　生活環境部会
（４）　教育文化部会
４　専門部会員の任期は２年とし、再任は妨げない。
（プロジェクトチーム）
第１５条　まちづくり等に関する諸案件に即応するプロジェクトチームを必要に応じて設置することができる。
２　チームメンバーは会員より公募し、会長が任命する。
３　チームには、リーダー１名とサブリーダー１名を、メンバーの互選により選出する。
４　チームメンバーの任期は、各プロジェクト終了までとする。
（広報委員会）
第１６条　広報委員は、会長が会員の中から４名を委嘱し、委員の互選により、委員長１名と副委員長１名を選出する。
２　広報委員会は、会員に広く周知するため広報紙等を発行する。
３　広報委員会の任期は２年とし、再任は妨げない。
（会計）
第１７条　本会の経費は、交付金、補助金、寄付金及びその他に収入をもってあてる。
（会計年度）
第１８条　本会の会計年度は、４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。
（情報等の公開広報）
第１９条　本会の会議等は、公開を原則とし、事業計画、事業報告及び予算決算等について会員に広く周知するものとする。

（その他）
第２０条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

付　則
この規約は、平成２３年６月２５日より施行する。

付　則
この規約は、平成２４年１２月１５日より施行する。

付　則
第１条　自治振興委員及び専門部会員の交互改選を行うため、平成２７年度に限り別紙１のとおり、任期を１年とする。
この規約は、平成２７年４月１日より施行する。

付　則
この規約は、平成２７年６月７日より施行する。
（第１５条　プロジェクトチームの追加）

付　則
この規約は、平成２９年４月１日より施行する。
（自治振興委員の削除、代議員の人数の変更）